

パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社

**2012年3月期
決算説明会**

2012年 4月25日

1. 2012年3月期決算の概要 **取締役 吉川達夫**

- (1) 決算概況
- (2) 配当方針
- (3) 業績見通し

2. 事業の進捗と今後の方針 **代表取締役社長 前川一博**

- (1) 2012年3月期の振り返り
- (2) 2013年3月期の事業戦略

パナソニック電気インフォメーションシステムズ株式会社

**2012年3月期
決算説明会**

2012年 4月25日

取締役 吉川 達夫

2012年3月期の決算概況

7年ぶりの増収

5年ぶりの増益（営業利益、経常利益）

売上高

ソリューション売上の大幅増により、7年ぶりの増収

利益

不採算案件をカバーし、5年ぶりの増益
構造改革費用4.5億円計上で当期純利益は減

その他

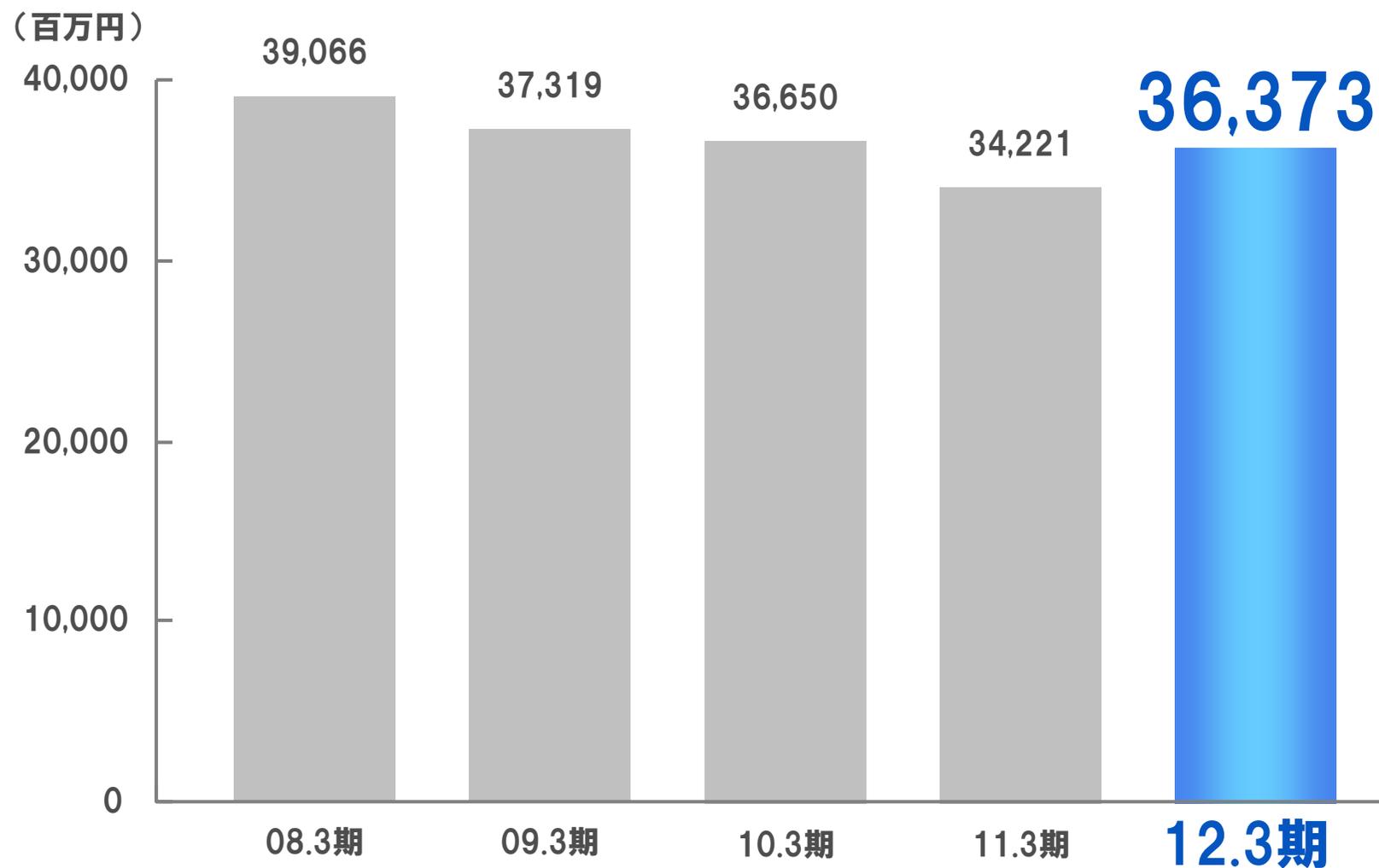
受注残高は減少

2012年3月期 業績

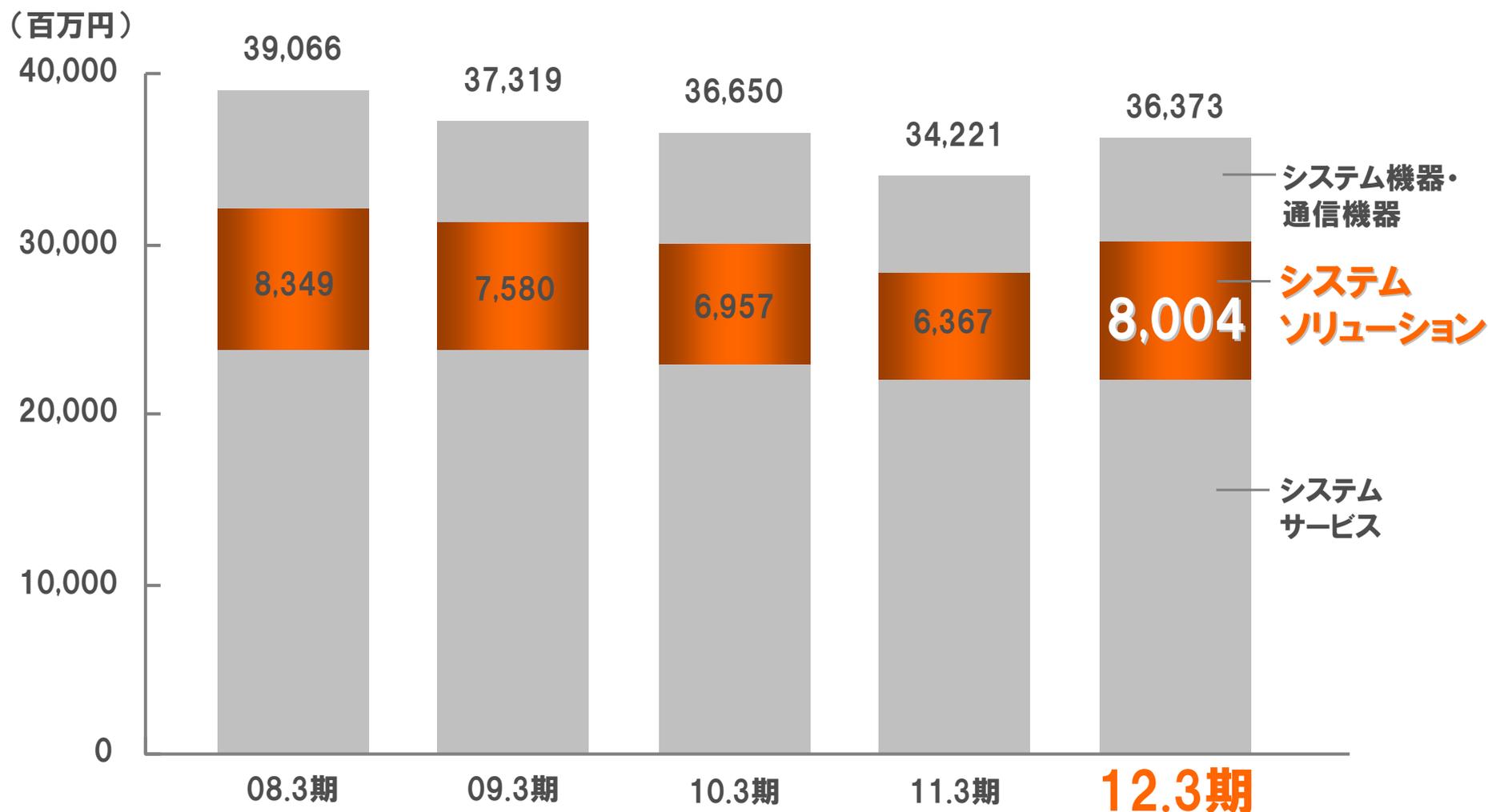
(百万円)

	11.3期		12.3期			12.3期 業績予想
	金額	利益率	金額	利益率	前期比	
売上高	34,221	—	36,373	—	106.3%	37,500
営業利益	4,205	12.3%	4,254	11.7%	101.2%	4,550
経常利益	4,269	12.5%	4,293	11.8%	100.6%	4,600
当期純利益	2,581	7.5%	2,227	6.1%	86.3%	2,730

7年ぶりの増収



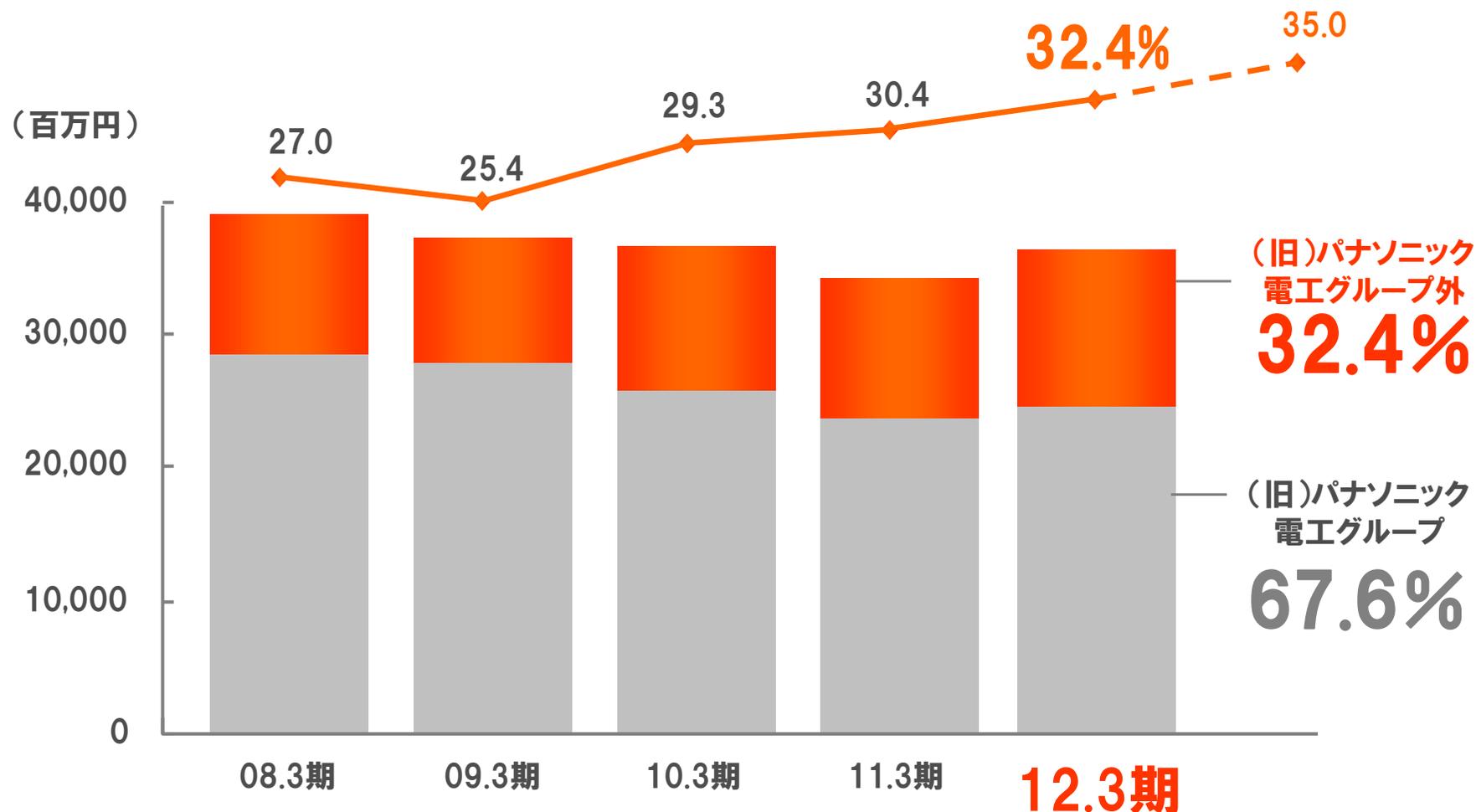
システムソリューションの増加が増収に寄与



【相手先別】売上高の推移



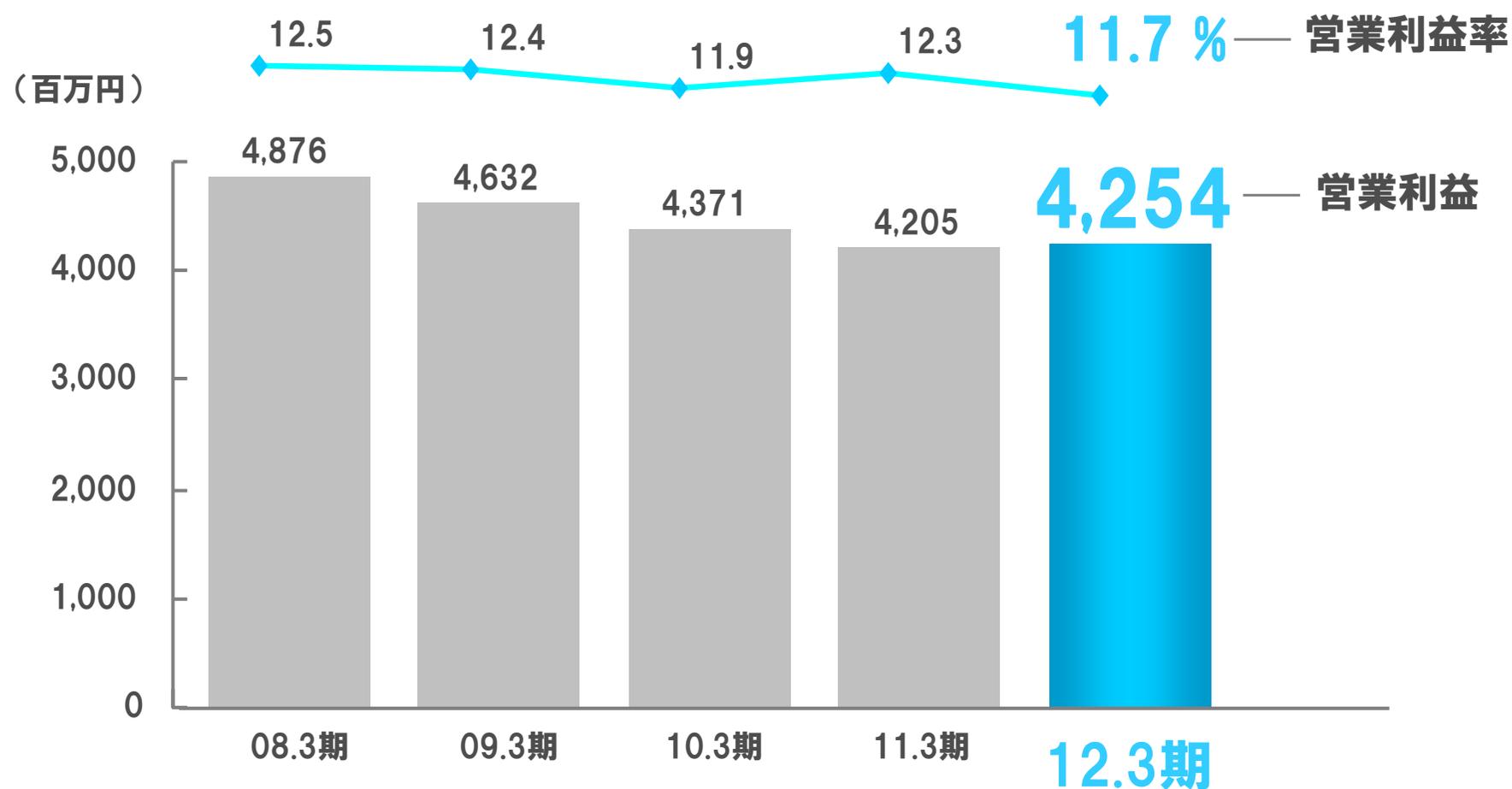
(旧)パナソニック電工グループ外向け 売上比率32.4%を達成



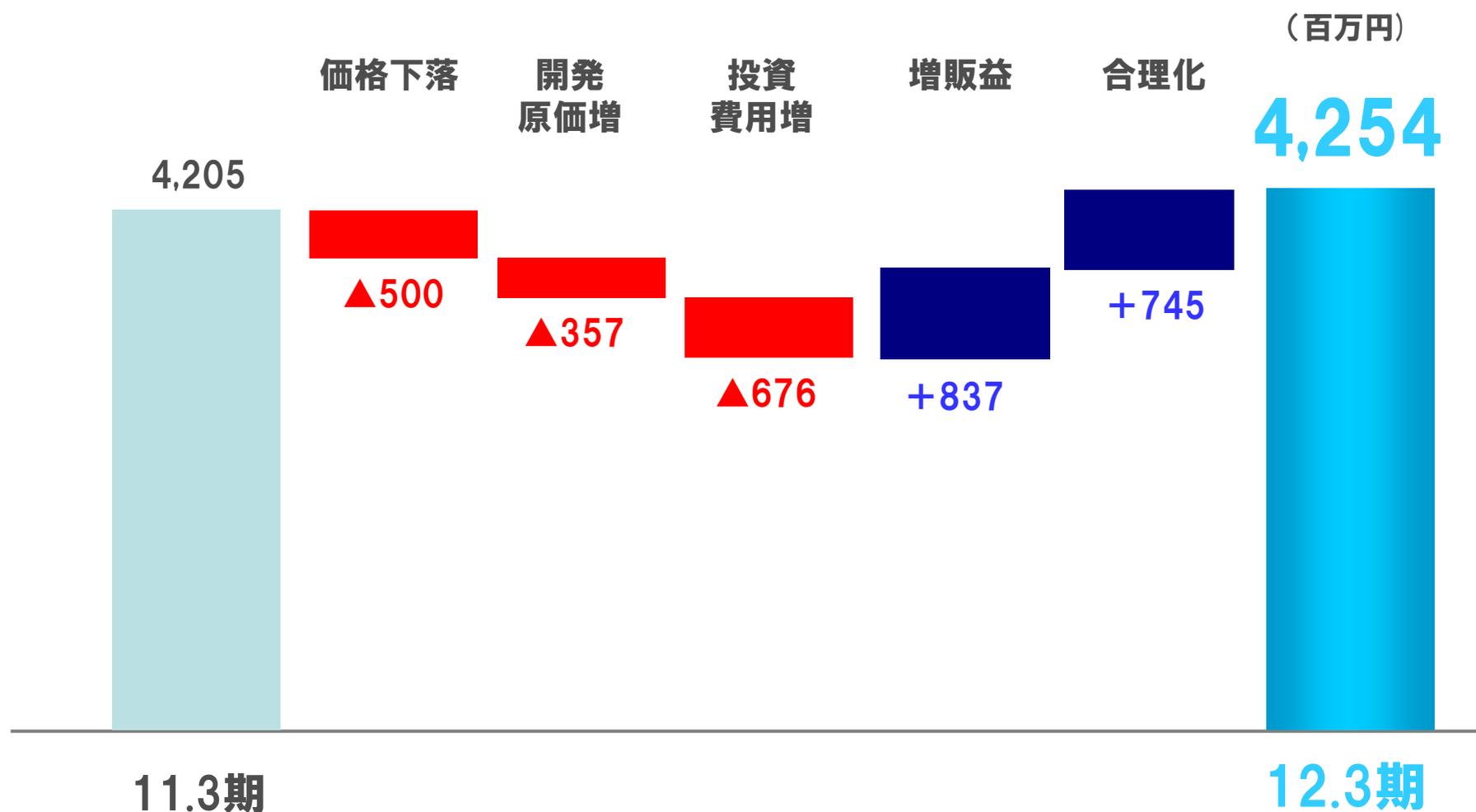
営業利益(率)の推移



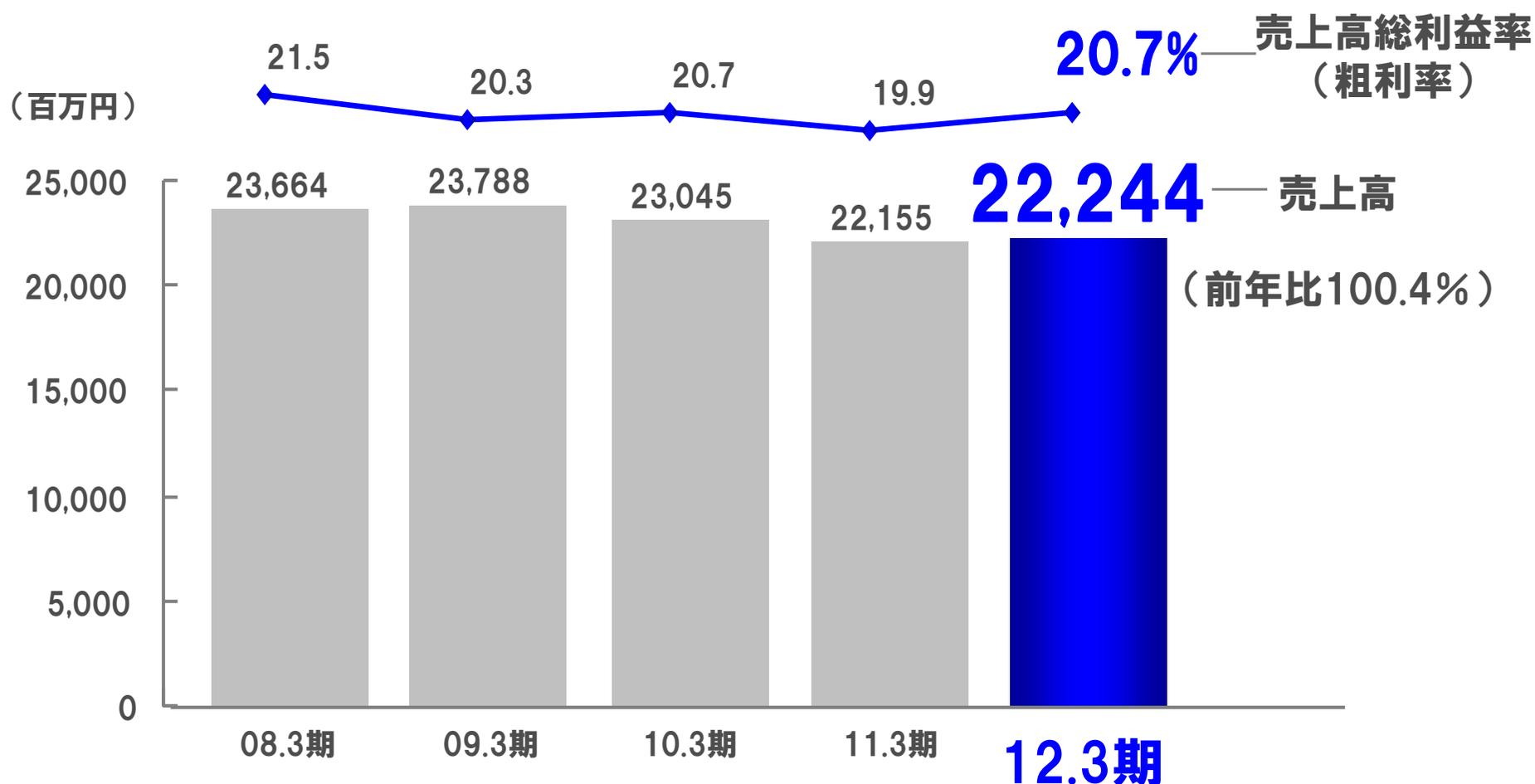
5年ぶりの営業利益増



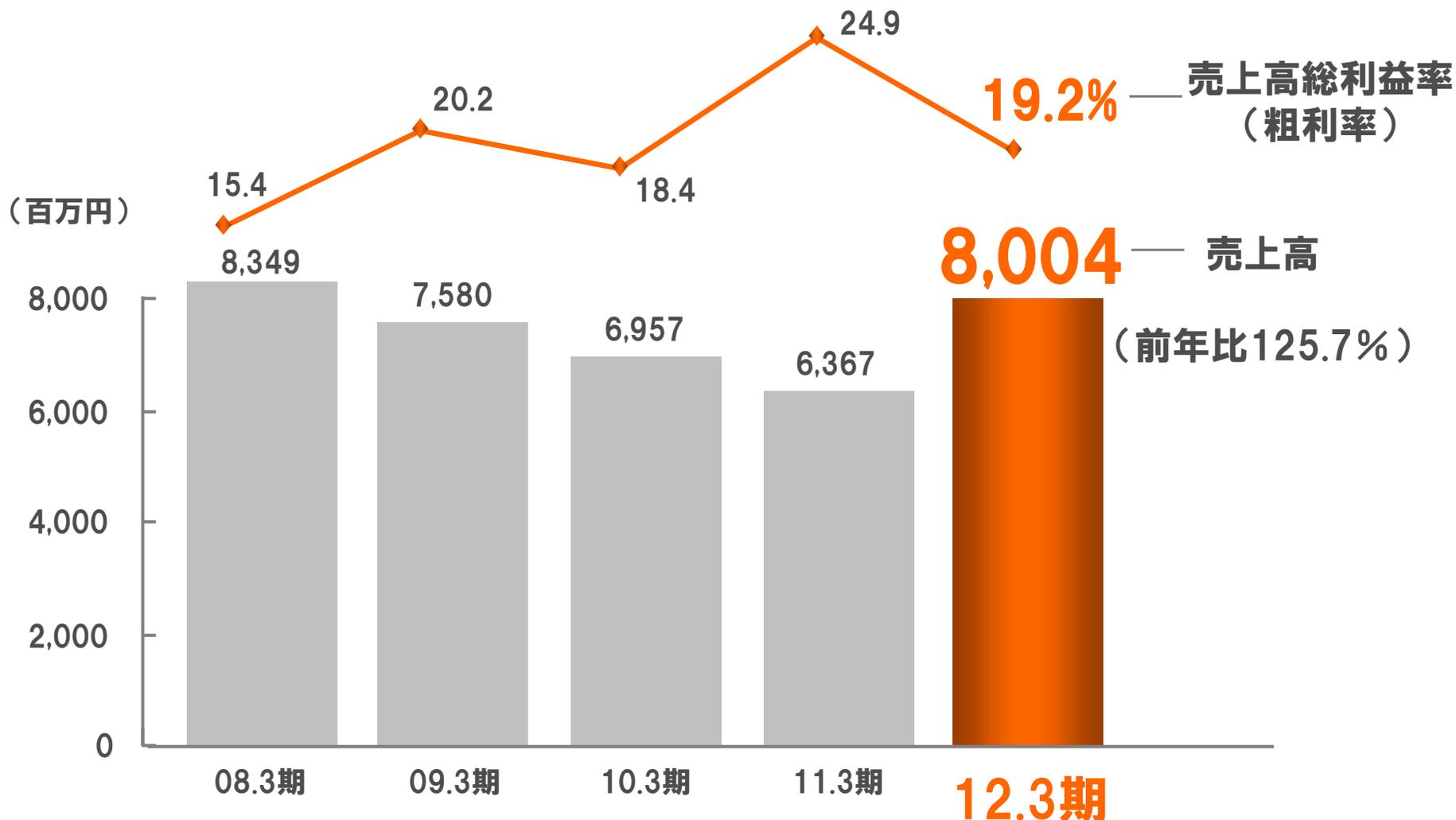
増販益と合理化で増益を達成



価格下落を合理化・リソースシフトで挽回

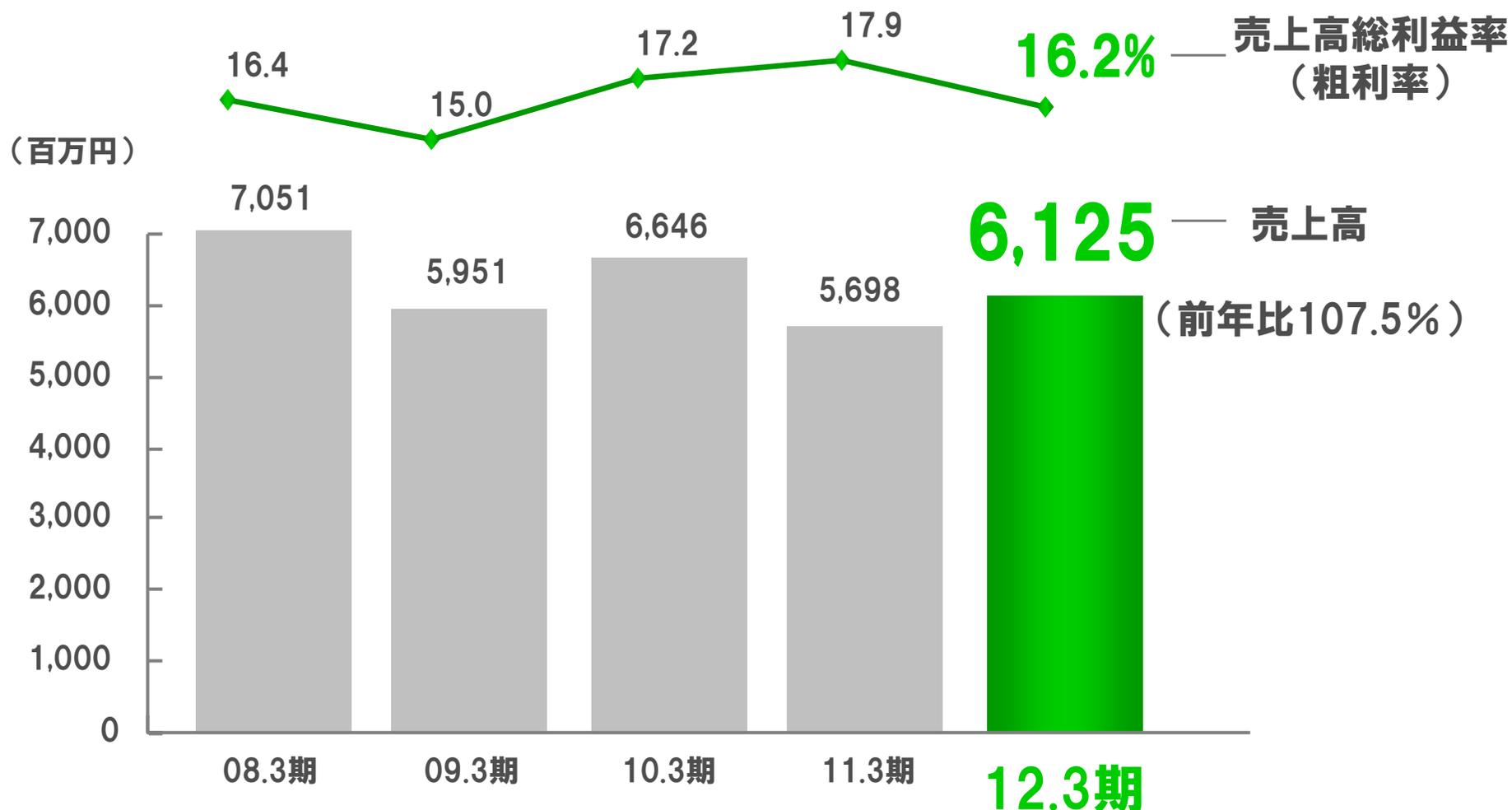


大幅増販も開発原価増で粗利率は低下

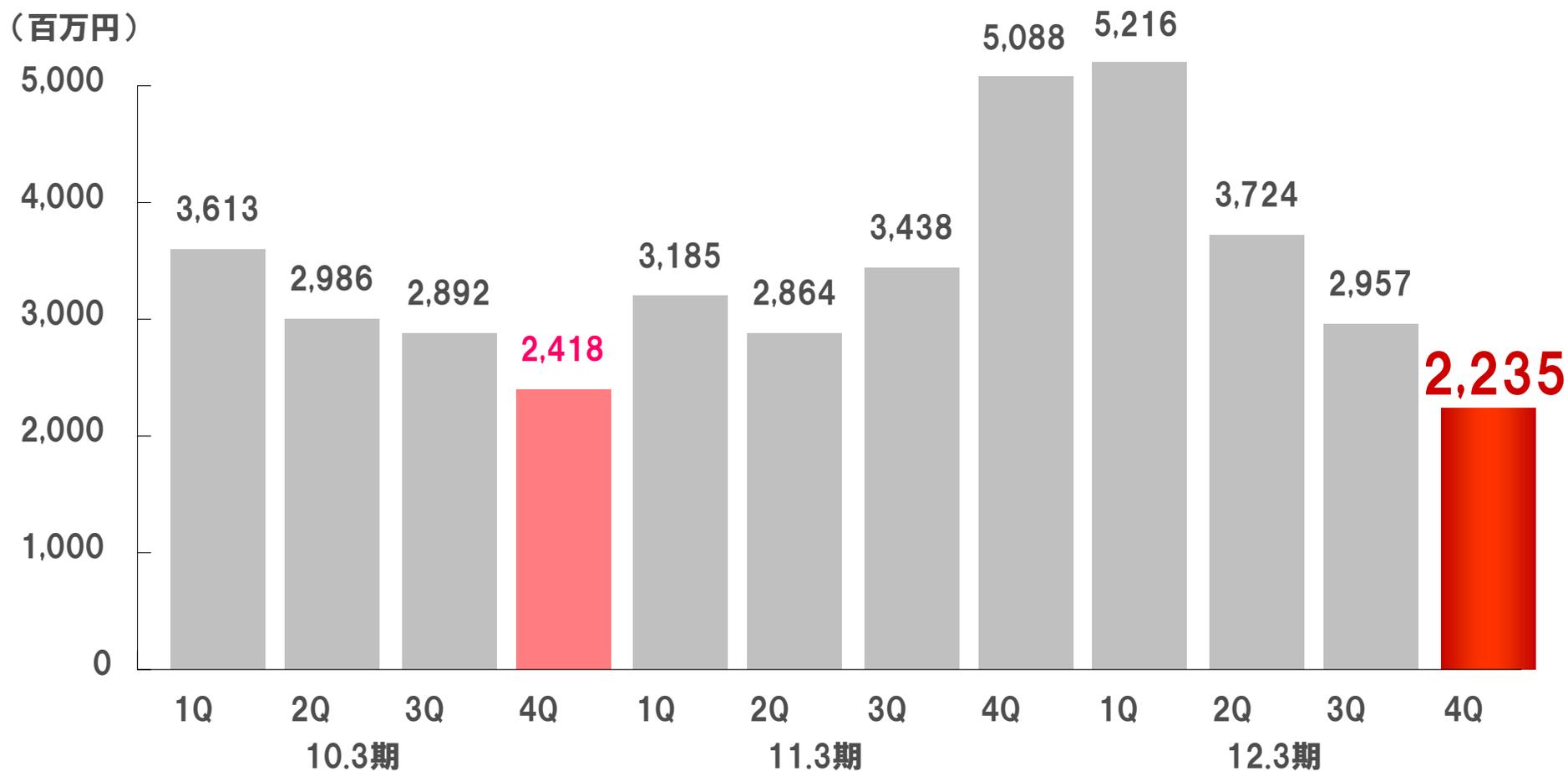


【システム機器・通信機器】売上高・売上高総利益率の推移13

高付加価値商材への特化で粗利率を確保



大規模案件終了直後のため受注残は減少



配当方針

2012年3月期 (予想)	安定配当 業績連動配当	55円 10円	配当性向 31.1%
------------------	----------------	------------	---------------

2013年3月期 (計画)	安定配当 業績連動配当	55円 10円	配当性向 26.6%
------------------	----------------	------------	---------------

配当方針

- 株主への利益還元は最も重要な課題のひとつ
- 経営基盤の強化と長期的な事業発展のための内部留保の充実に留意
- 年間1株当たり55円配当を安定的に実施
- 資金状況、財政状況、配当性向等を総合的に勘案し、可能な限り業績連動配当を実施

業績見通し



環境変化に対応しつつ、増収増益をめざす

(百万円)

	12.3期		13.3期		
	金額	利益率	金額	利益率	前期比
売上高	36,373	—	38,000	—	104.5%
営業利益	4,254	11.7%	4,300	11.3%	101.1%
経常利益	4,293	11.8%	4,300	11.3%	100.2%
当期純利益	2,227	6.1%	2,600	6.8%	116.7%

パナソニック電工インフォメーションシステムズ株式会社

**2012年3月期
決算説明会**

2012年 4月25日

代表取締役社長 前川 一博

会社名 パナソニック電気インフォメーションシステムズ株式会社

※2012年7月1日

パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社

Panasonic Information Systems Co.,Ltd.

に商号変更予定

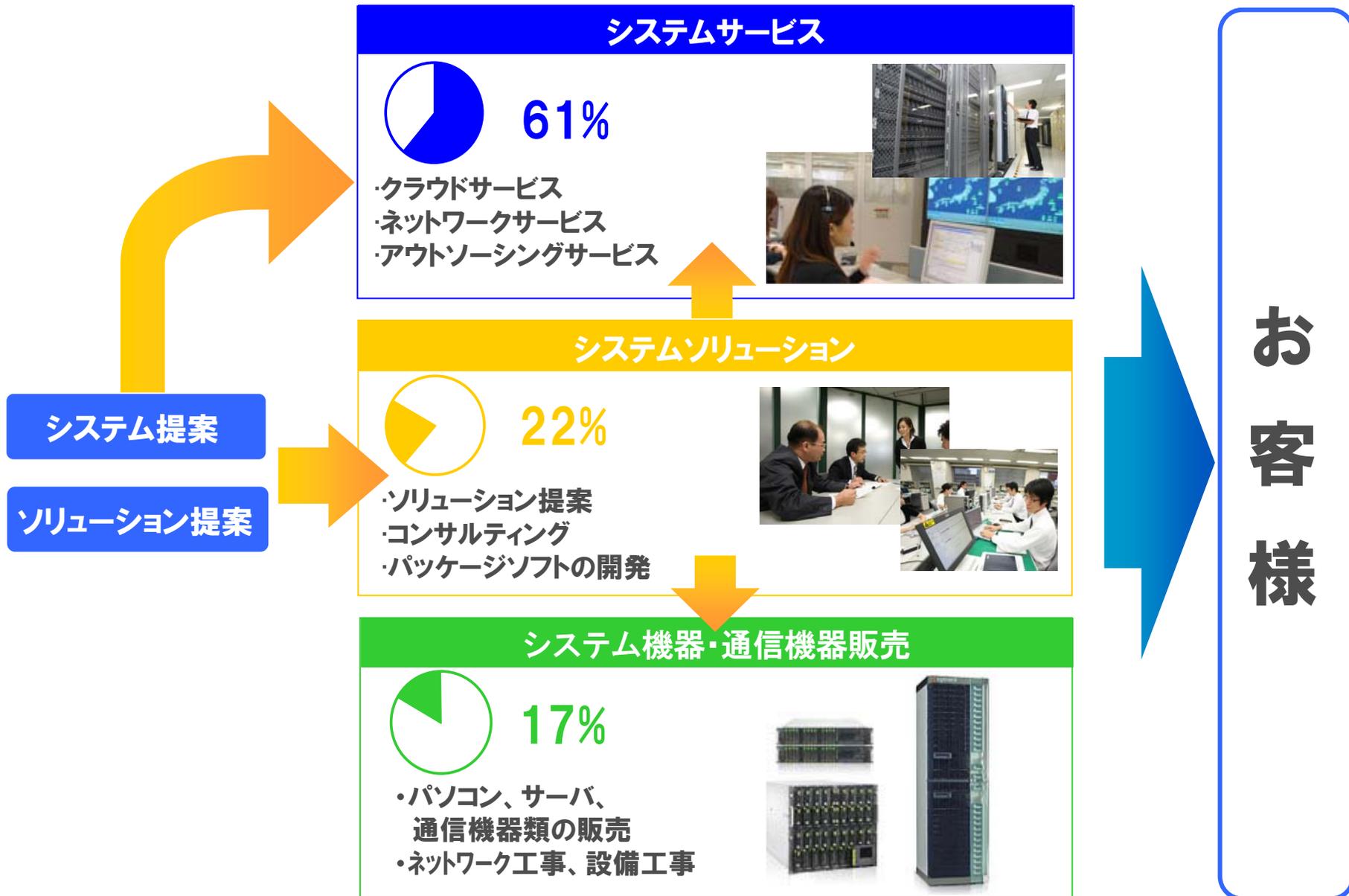
設立 1999年2月22日

代表者 代表取締役社長 前川 一博

事業内容 情報サービス業

資本金 10.4億円(2012年3月末現在)

従業員数 688人(2012年3月末現在)



2012年3月期の振り返り

■ 7年ぶり増収 前年比 **106.3%**

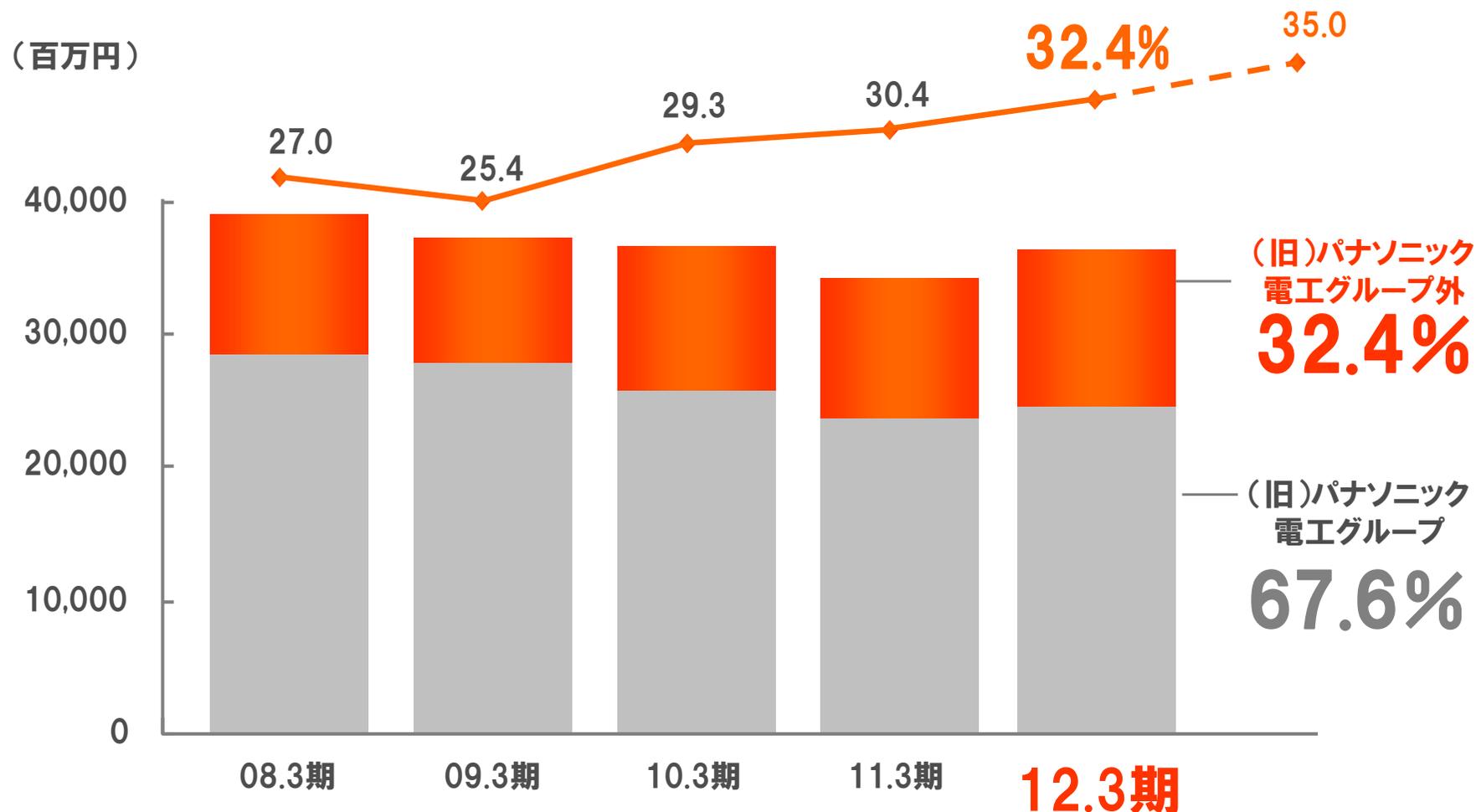
5年ぶり営業利益増 前年比 **101.2%**

■ (旧)パナソニック電工グループ外への売上高
前年比 **113.2%**

■ 5つの重点事業が着実に成長

■ ワンパナソニック対応 ほぼ完遂（～2012年3月）

(旧)パナソニック電工グループ外への売上比率35%超 売上高 30%増



1.外販の強化

5つの成長事業
+ α（新ビジネス・新商品）

2.重点顧客の深耕

パナソニック
IT成長戦略への提案と実行

3.経営体質強化

人財・品質の向上、
構造改革・合理化の追求

★ワンパナソニック

事業再編のIT対応完遂

5つの成長事業

新事業・重点事業の選択と集中

(億円)

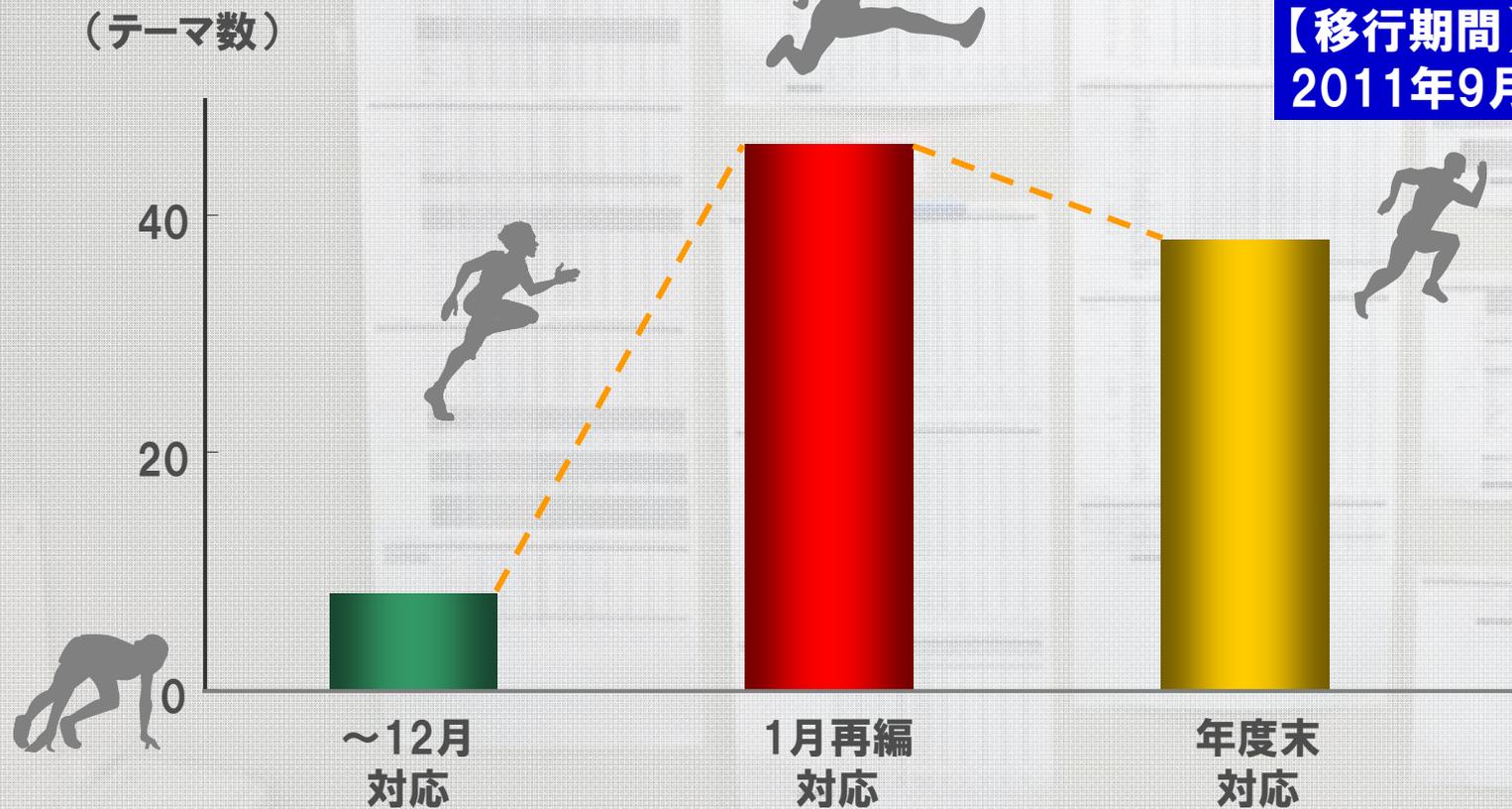
No.	5つの成長事業+α	11.3期	12.3期	13.3期 (中期計画)
1	インフラ最適化事業	4.0	(10.3) 4.7	20.0
2	IT運用サービス事業	2.3	(4.3) 7.0	5.0
3	設計プロセス改革事業	1.2	(1.5) 2.7	10.0
4	基幹業務SI事業	1.8	(8.5) 3.9	10.0
5	(旧)パナソニック電工との協業	1.1	(4.4) 3.3	5.0
	合計	10.4	(29.0) 21.6	50.0

(XX):年間計画

新体制スタートにともなう システム移行作業を完了(～2012年3月)

【当社対応案件】
約100テーマ

【移行期間】
2011年9月～



2013年3月期の事業戦略

2012年経営スローガン 「すべてはお客様」

- 企業のIT投資抑制～加速するクラウド需要への対応
- パナソニックグループへ「IT」でもっと貢献
- 環境変化に対応した中期経営計画の一部修正

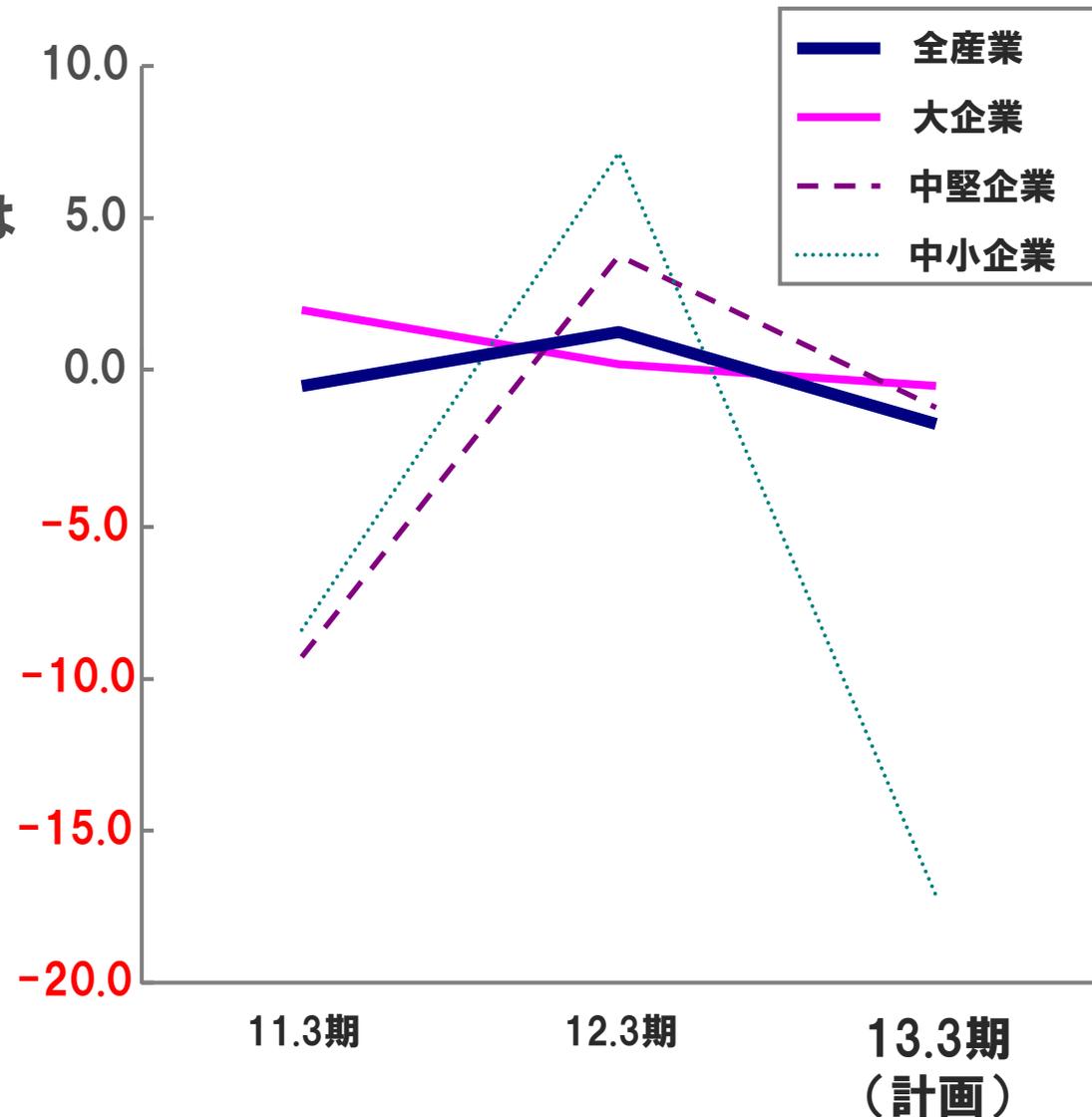
【日銀短観3月調査より】

前年比%

■先行きの不透明感を背景に
ソフトウェア投資額(計画)は
横ばい～減少基調

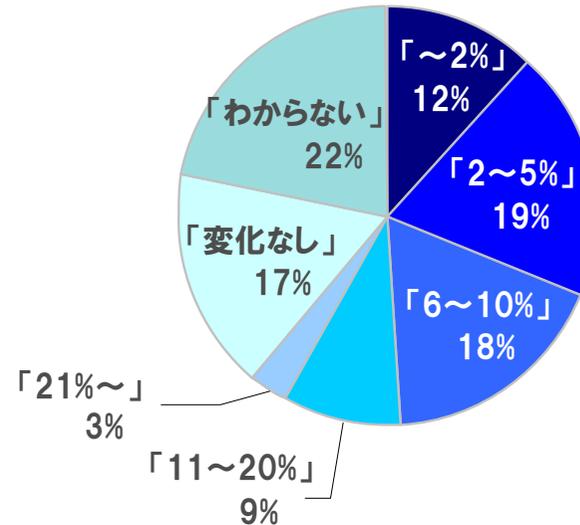
■アプリ開発からインフラへの
投資シフト

■従来型のIT提案では
厳しい状況が続く可能性



【ITRの調査より】

Q. クラウドサービスの活用により、
従来型のITサービス費を
どの程度削減できましたか？



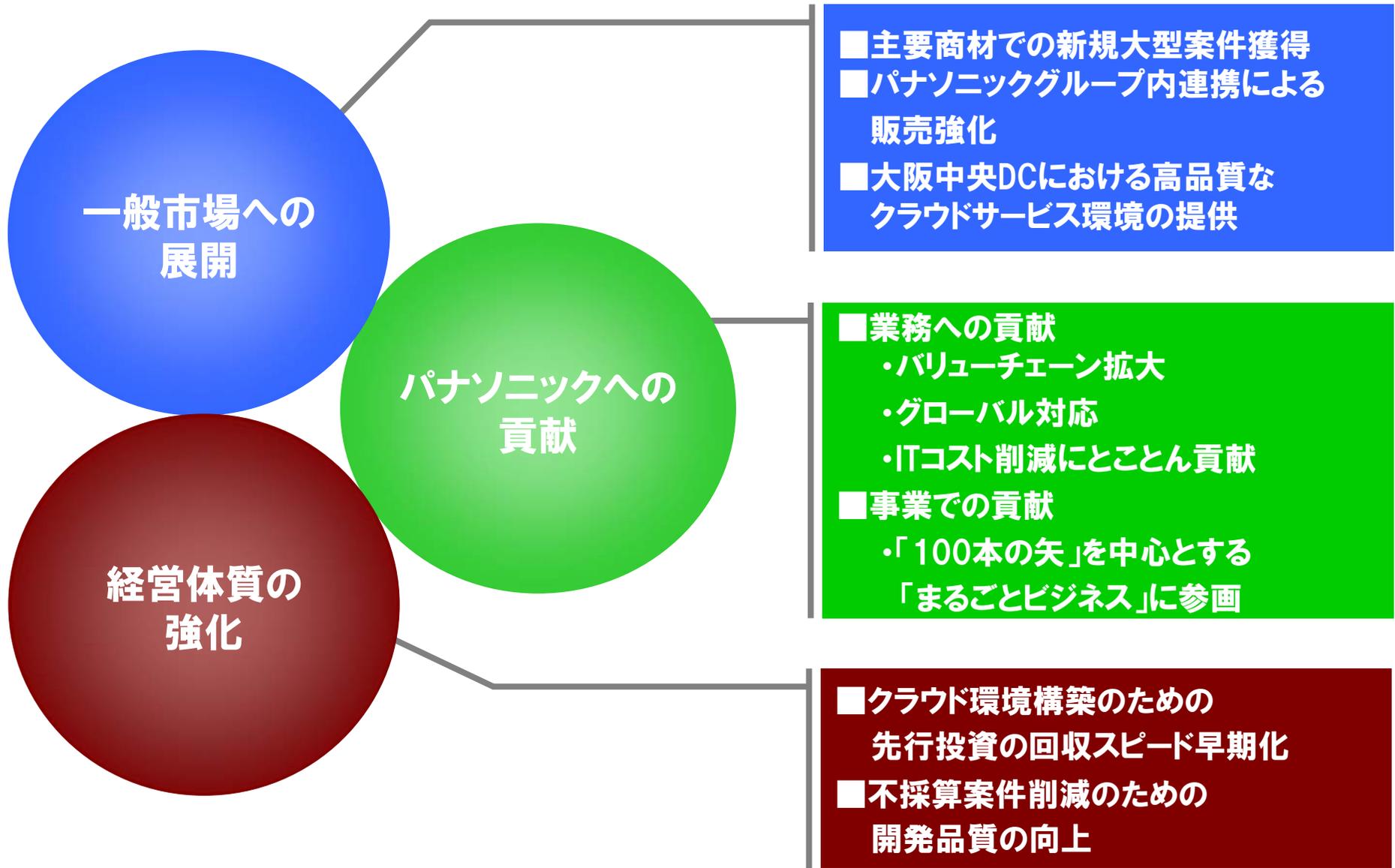
実感

クラウドによるITコスト削減に成功

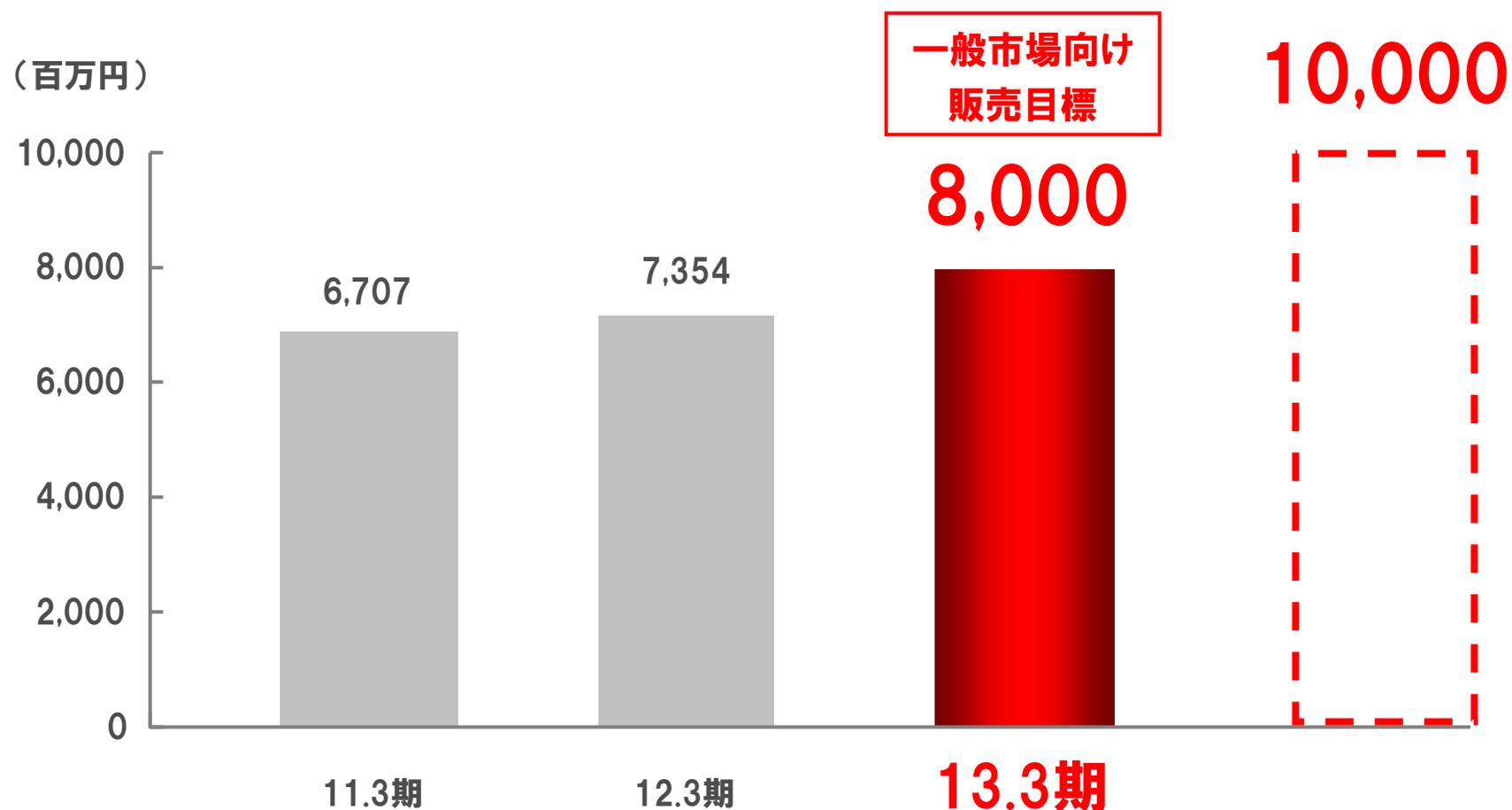
60%以上

今後5年間におけるクラウドベースのアウトソーシングは50%以上になるとの予測も

出典「クラウドが変えるアウトソース契約」ITR

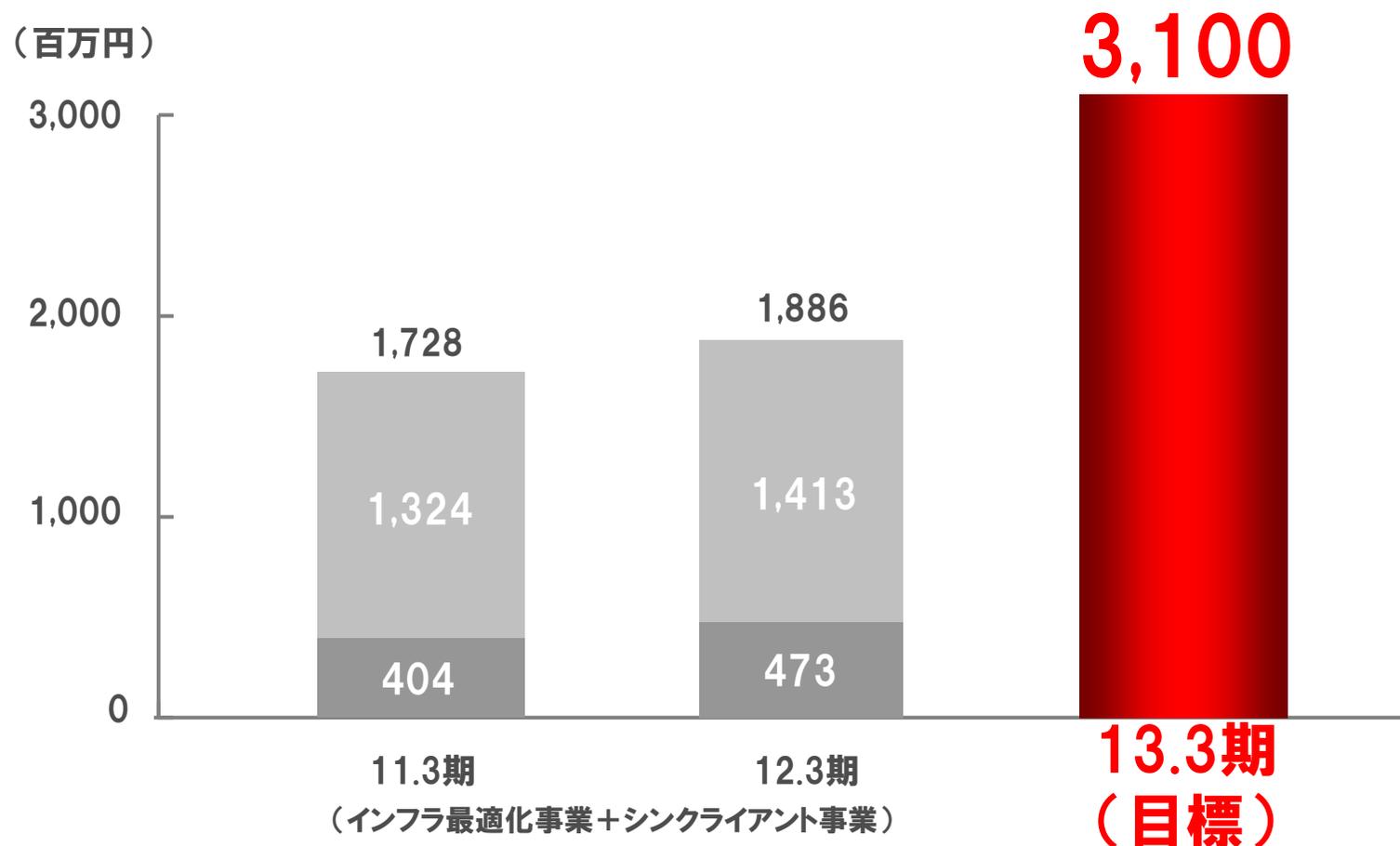


1. 「(旧)パナソニック電工グループ」「(旧)パナソニック電工グループ外」
→「**パナソニックグループ**」「**一般市場**」に区分変更



2. 5つの成長事業「インフラ最適化事業」

→シンクライアント事業を加え「**Nexstructure事業**」へ変更



5つの成長事業

新事業・重点事業の選択と集中

(億円)

No.	5つの成長事業+α	11.3期	12.3期	13.3期
1	Nestructure事業 ()はシンクライアント事業の売上	4.0 (13.2)	4.7 (14.1)	31.0
2	IT運用サービス事業	2.3	7.0	8.0
3	設計プロセス改革事業	1.2	2.7	4.0
4	基幹業務SI事業	1.8	3.9	10.0
5	パナソニックグループとの協業	1.1	3.3	5.0
	合計	10.4	21.6	58.0

Nexstructure事業+IT運用サービス事業

■ PAN(ソリューション+運用サービス)+シンククライアント

今年度確定 **17件 6.5億円**

(昨年実績 18.8億円)

■ 大阪中央データセンター稼働率

100%稼働へ

(2012年3月末 94%)

設計プロセス改革事業

■ 設計ソリューション

今年度構築＋提案中 **5件 1.1億円**
(昨年度実績 2.7億円)

基幹業務SI事業

■ GRANDIT (ERPパッケージ)の展開

今年度確定 **4件 4.2億円**
(昨年度実績 5件 3.9億円)



パナソニックグループとの協業

■ Ticketing System

今年度確定 **6件 1.7億円**

(昨年度実績 4件 2.2億円)

- ・大型アミューズメント施設
- ・水族館、プラネタリウム

パナソニックグループとの協業

■ eneview

データセンター市場から
省エネ／節電市場へ展開

提案中 **71** 件 **2.1** 億円
(昨年度 32件 0.6 億円)

■ 設備連携実証実験

パナソニック製品との連携による
IT事業推進の実証実験に参画

『あきた次世代自動車コンソーシアム』実証実験
(EV用充電スタンド運営支援システム)

『(財)大阪市都市型産業振興センター
“ロボットラボラトリー実証実験”
(LEDを用いた可視光通信システム)』

など

合計 **4** 案件

パナソニックIT戦略への参画と計画の完全遂行

急拡大

バリューチェーン拡大による成長を支援

急加速

グローバル展開の加速を支えるIT

新展開

「100本の矢」「まるごと」にITで参画

環境変化に対応しつつ、増収増益をめざす

	12.3期		13.3期		
	金額	利益率	金額	利益率	前期比
売上高	36,373	—	38,000	—	104.5%
営業利益	4,254	11.7%	4,300	11.3%	101.1%
経常利益	4,293	11.8%	4,300	11.3%	100.2%
当期純利益	2,227	6.1%	2,600	6.8%	116.7%

この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであります。実際の業績などは、今後の様々な条件・要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。